

2025年度生保健医療学部 看護学科カリキュラムマップ

科目区分	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
		看護学を活かして看護実践力が身につけている	人間、社会、環境、看護を理解し、適切に捉えるために必要な他の学問の知識が修得できている	人を尊重し、看護に対して倫理的に志向でき対応できる	物事を科学的（自然科学、人文科学）に捉えるための論理、思考ができる	人々と良い関係を持ち、自らも意見を述べながら、物事に協働して柔軟な対応ができる	看護や自らの将来を見通し、今後に向けて創造的に、企画、改革に挑戦していく基礎的能力をもつ	看護が果たす社会貢献の観点から、国際的な視点を含め、広く地域の健康に貢献できる基礎的能力をもつ
ゼミナール	基礎ゼミナールⅠ					◎		
	基礎ゼミナールⅡ						◎	
人間と生活	倫理学★			◎				
	哲学			◎				
	心理学概論		◎	○				
	人間関係論		◎	○				
	社会学概論		◎	○				
	社会福祉学☆		◎	○				
	憲法		◎					
	地球の生態学		◎					
	生命科学の基礎		◎					
	文化人類学		◎					
	国語表現法		◎					
	現代芸術論		◎					
	ボランティア論						○	
情報と言語	情報リテラシーⅠ		◎					
	情報リテラシーⅡ		◎					
	プレゼンテーション技法		○			◎		
	英語Ⅰ		○					◎
	英語Ⅱ		○					◎
	英語コミュニケーションⅠ		○					◎
	英語コミュニケーションⅡ		○					◎
	英語コミュニケーションⅢ		○					◎
	ドイツ語入門Ⅰ		○					◎
	ドイツ語入門Ⅱ		○					◎
	中国語入門Ⅰ		○					◎
	中国語入門Ⅱ		○					◎
	看護・医療英語		○					◎
人間と健康	スポーツⅠ		○			◎		
	スポーツⅡ		○			◎		
	健康科学			○	◎			
地域未来創造プログラム	東三河創造入門					○		◎
	東三河の歴史風土と文化							◎
	データサイエンス入門		○		◎			

科目区分	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	
		看護学を活かして看護実践力が身についている	人間、社会、環境、看護を理解し、適切に捉えるために必要な他の学問の知識が修得できている	人を尊重し、看護に対して倫理的に志向でき対応できる	物事を科学的（自然科学、人文科学）に捉えるための論理、思考ができる	人々と良い関係を持ち、自らも悪見を述べながら、物事に協働して柔軟な対応ができる	看護や自らの将来を見通し、今後に向けて創造的に、企画、改革に挑戦していく基礎的能力をもつ	看護が果たす社会貢献の観点から、国際的な視点を含め、広く地域の健康に貢献できる基礎的能力をもつ	
専門基礎科目	人間の理解	からだの構造と機能Ⅰ		◎	○				
		からだの構造と機能Ⅱ		◎	○				
		臨床心理学		◎	○	○			
		社会システムと人間		◎		○			
	健康の理解	臨床薬理学		◎		○			
		臨床栄養学		◎		○			
		生化学		◎		○			
		病原体と感染		◎		○			
		病態と治療の基礎		◎		○			
		病態と治療Ⅰ（内科系）		◎		○			
		病態と治療Ⅱ（内科系）		◎		○			
		病態と治療Ⅲ（外科系）		◎		○			
		病態と治療Ⅳ（小児）		◎		○			
	病態と治療Ⅴ（産科・婦人科）		◎		○				
	病態と治療Ⅵ（精神科）		◎		○				
	環境の理解	公衆衛生学		◎		○			△
		保健医療福祉行政論☆		◎		○			
		保健医療統計学Ⅰ☆		◎		○			
		保健医療統計学Ⅱ☆		◎		○			
		環境と人間		◎		○			△
専門科目	基礎看護学	看護学原論		◎	△			△	
		看護理論概説		◎	△				
		看護倫理☆★			◎	○	○	△	
		ヘルスアセスメント論★	△			◎			
		基礎看護学方法論Ⅰ	○		○	◎	△		
		基礎看護学方法論Ⅱ	○		○	◎	△		
		基礎看護学方法論Ⅲ			△	◎			
	在宅看護学	基礎看護学実習Ⅰ	◎		○		△		
		基礎看護学実習Ⅱ	◎		○	△	○		
		在宅看護学原論Ⅰ☆			◎	○	△		△
		在宅看護学原論Ⅱ☆			△	○	△		◎
		在宅看護学方法論			○	◎			△
		在宅看護学演習Ⅰ			△	◎			
		在宅看護学演習Ⅱ	△		△	◎			
在宅看護学実習	◎		○	○	○		△		

科目区分	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
		看護学を活かして看護実践力が身についている	人間、社会、環境、看護を理解し、適切に捉えるために必要な他の学問の知識が修得できている	人を尊重し、看護に対して倫理的に志向でき対応できる	物事を科学的(自然科学、人文科学)に捉えるための論理、思考ができる	人々と良い関係を持ち、自らも意見を述べながら、物事に協働して柔軟な対応ができる	看護や自らの将来を見通し、今後に向けて創造的に、企画、改革に挑戦していく基礎的能力をもつ	看護が果たす社会貢献の観点から、国際的な視点を含め、広く地域の健康に貢献できる基礎的能力をもつ
専門科目	成熟期看護学原論			◎	○			△
	成熟期看護学方法論 I			○	◎			△
	成熟期看護学方法論 II			○	◎			△
	成熟期看護学方法論 III			○	◎			△
	成熟期看護学演習 I	△		○	◎	○		△
	成熟期看護学演習 II	△		○	◎	○		△
	成熟期看護学演習 III			○	◎	○		△
	成熟期看護学演習 IV	△		○	◎	○		△
	成熟期看護学実習 I	◎		○	○	○		△
	成熟期看護学実習 II	◎		○	○	○		△
	成熟期看護学実習 III	◎		○	○	○		△
	成熟期看護学実習 IV	◎		○	○	○		△
	成熟期看護学実習 V	◎		○	○	○		△
	成熟期看護学実習 VI	◎		○	○	○		△
	成熟期看護学実習 VII	◎		○	○	○		△
	母性看護学原論			◎	○			○
	母性看護学方法論			○	◎	△		△
	母性看護学演習			○	◎	○		△
	母性看護学実習	◎		○	○	○	△	△
	小児看護学原論			◎	○			○
	小児看護学方法論			○	◎			△
	小児看護学演習	△		○	◎	○		△
	小児看護学実習 I	◎		○	○	○	△	△
	小児看護学実習 II	◎		○	○	○	△	△
	精神看護学原論			◎	○			△
	精神看護学方法論			○	◎			△
	精神看護学演習	△		○	◎	○		△
	精神看護学実習	◎		○	○	○	△	△
	看護管理学 ★			○	○		◎	
	看護教育学						◎	△
	看護学研究 I				○		◎	
	看護学研究 II				○		◎	
	家族看護学☆			◎	○	△		△
災害看護学						△	◎	
国際看護学							◎	
医療・看護の最前線						◎		
統合実習	◎		○	○	○	○	○	

科目区分	科目名	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7	
		看護学を活かして看護実践力が身につけている	人間、社会、環境、看護を理解し、適切に捉えるために必要な他の学問の知識が修得できている	人を尊重し、看護に対して倫理的に志向でき対応できる	物事を科学的（自然科学、人文科学）に捉えるための論理、思考ができる	人々と良い関係を持ち、自らも意見を述べながら、物事に協働して柔軟な対応ができる	看護や自らの将来を見通し、今後に向けて創造的に、企画、改革に挑戦していく基礎的能力をもつ	看護が果たす社会貢献の観点から、国際的な視点を含め、広く地域の健康に貢献できる基礎的能力をもつ	
専門科目（選択コース）	公衆衛生看護学	疫学		◎		○			
		学校保健学			◎	○		△	
		産業保健学			◎	○		△	
		公衆衛生看護学原論			◎	○			
		公衆衛生看護学方法論Ⅰ			○	◎			
		公衆衛生看護学方法論Ⅱ			○	◎			
		公衆衛生看護学演習Ⅰ	△		△	◎	○		
		公衆衛生看護学演習Ⅱ	△		△	◎	○		
		公衆衛生看護学管理論			○	○		◎	
		公衆衛生看護学実習Ⅰ（行政）	◎		○	○	○	△	○
		公衆衛生看護学実習Ⅱ（学校・産業）	◎		○	○	○	△	○
		助産学	地域母子保健			◎	○	○	△
	助産学原論				◎	○		△	○
	助産診断・技術学Ⅰ				○	◎	△		
	助産診断・技術学Ⅱ				○	◎	△		
	助産診断・技術学Ⅲ				○	◎	△		
	助産診断・技術学Ⅳ				○	◎	○		
	助産技術学		○		○	◎	○	△	
	助産管理				○	○	○	◎	○
	助産学実習Ⅰ		◎		○	○	○	△	△
助産学実習Ⅱ	◎			○	○	○	△	△	
助産学実習Ⅲ	◎		○	○	○	△	△		

◎：強く関連 ○：関連 △：やや関連

☆公衆衛生看護学の読み替え科目

★助産学の読み替え科目